

2026年2月2日

業務名称：2026年度～2027年度円借款事業に係る調達関連一次チェック外部業務委託（ロットA）（単価契約）  
（公告日：2026年1月9日 調達管理番号：25a00748）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	入札案件ではこれまでプレゼンテーションの工程は無かったが今回追加になった経緯と概要をご教示頂きたいです。その内容を把握することによって、プレゼン資料の準備やプレゼン方法等も考慮する必要があると考えた次第です。	他の公告・公示案件ではプレゼンテーションを実施している例もあるため、本件についても採用しています。評価表に記載のとおり、業務実施体制および業務主任者の経験・能力についてプレゼンテーション及び質疑応答を通じて明らかにし、評価するものとなります。
2	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	実施者について：総括的に関わるものが実施とありますが、弊社では契約管理、連絡窓口は日本人となりますが、実務を担当しているのはフィリピン人のスタッフとなります。そのため、実務を担当しているフィリピン人が英語で実施すべきか、又は、日本語で契約管理や連絡窓口を努めている日本人が担当すべきでしょうか。	本業務に「総括的に関わる者」として業務仕様書に記載の業務主任者相当を想定しております。
3	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	オンライン同席は何名まで可能でしょうか。	特に人数に制限は設けていませんが、「総括的に関わる者」と同じ場所からオブザーバーとしてとしての同席となります。プレゼンテーションへの参加はできません。なお弊機構から同席者に対して案内等は行いません。
4	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	通番2とほぼ同じ質問です。日本人がプレゼンの場合は、プレゼン、及びその資料が日本語で、フィリピン人の場合は、プレゼンも資料も英語で宜しいでしょうか。	国籍に関わらず日本語もしくは英語で可能です。
5	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	プレゼンテーション時間は10分のみなので、内容は業務の実施方針と業務主任者としての経験・能力に関する点に焦点をあてることで間違いでしょうか。	評価表の「2. 業務の実施方針等」および「3. 業務主任者の経験・能力」に焦点をあててご説明ください。
6	P. 9	11. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施	通番4の続きですが、プレゼンテーションが英語の場合も通訳は不要で問題ないでしょうか。	英語の場合の通訳は不要です。
7	P. 11	(3) 評価方法	技術評価と価格評価の合計が評価の対象となり、プレゼンテーションについては対象になっていないと理解しております。今回、プレゼンテーションが加点、減点の対象となるのでしょうか。	技術提案書の記載内容について、プレゼンテーションでご説明頂き、質疑応答を通じて不明な点を明らかにし、評価いたします。本入札ではプレゼンテーション能力については評価対象としておりませんが、プレゼンテーションでのご説明や質疑応答の回答によって不明な点が解消しない等の場合、結果的に評価に影響する可能性はあります。
8	P. 42	2. 業務の実施方針等	配点は85ですが、技術提案書だけの配点ではなくプレゼンテーションによって加点、減点される可能性があるということになりますでしょうか。	通番7のとおりとなります。
9	P. 42	3. 業務主任者の経験・能力 2) 業務主任者としての経験・能力	配点は15+25ですが、プレゼンテーションの質疑応答によって加点、減点されることになりそうですでしょうか。	通番7のとおりとなります。